

特別栽培農産物栽培管理計画書

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	30年1月30日
計画変更日	

生産者	杉山修一	品 種 名	いのちの壺
住 所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ 場	圃場登録書参考
電 話	0287-46-0741	栽培面積	7451 m ²
作目・作型	水稲 早期栽培	収穫期間	9月10日～11月20日

(計 画)

○作業内容 いのちの壺

単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作 業 名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	29.10				ロータリー耕
カバークロープ播種	29.10.～				ロータリー播種機
レーザーレベラー	30.3.～				レーザー整地
有機質散布	30.3.上旬 ～30.4月	発酵鶏糞	100 kg		ブロードキャスター
種子消毒	30.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	30.4.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象農薬及び有機農産物の別表の2の農薬不使用培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 1.5kg 0.6 kg		10畝20枚換算 播種機使用床土下層に床土箱詰、発酵鶏糞散布、スリヤグアノ散布、床土表層箱詰め、散水、播種、覆土
発芽	播種後5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	30.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	30.4上旬～落水まで				軽トラック、1.5トン、2トン車等
代掻き作業	30.4上旬～5月中旬				代かきハロー
田植え作業	30.4下～5	ルーチン粒剤 化成14-14-14 シウハ1キ粒剤	1 kg 18 kg 1 kg	1回 2.52 kg 2回	田植え機使用、薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数37～48株植え
除草剤散布	田植え後7～10日	ゴエモンジャンボ	0.4 kg	3回	
土壌改良材流し込み	30.5下	海洋深層水1ヘルツ	0.1リットル		水口から流し込み
除草剤散布	30.6～7月	バサグラン液剤	0.1リットル	1回	ブームスプレーヤーで散布
殺菌剤散布	30.8月	モンガリット粒剤	3 kg	1回	水口から流し込み
収穫、乾燥	30.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、粳すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特栽培付け、農産物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.52	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シウチ1キ粒剤	ブタクロール 5.0% ペントキザン1.5%	
ゴエモン®ジャンボ	イプフェンカルバザン8.33% イマゾフルフロン 3.0% プロモブチド30.0%	
モンガリット	シメキサール	1.5%
バサグラン液剤	ペンタゾナトリウム塩	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
化成14-14-14	14

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	1箱当たり窒素施用量	10a 当たり使用箱数
関東農産無肥料培土	不使用	20 枚

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

実績 ○作業内容 いのちの壱

単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	29.10				ロータリー耕
カバークロープ播種	29.10.～				ロータリー播種機
レーザーレベラー	30.3.～				レーザー整地
種子消毒	30.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	30.4.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象農薬及び有機農産物の別表の2の農薬不使用培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 1.5kg 0.6kg		10畝20枚換算 播種機使用床土下層に床土箱詰、発酵鶏糞散布、スリヤグアノ散布、床土表層箱詰め、散水、播種、覆土
発芽	播種後5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	30.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	30.4上旬～落水まで				軽トラック、1.5トン、2トン車等
代掻き作業	30.4上旬～5月中旬				代かきハロー
田植え作業	30.4下～5	ルーチン粒剤 化成14-14-14 シウチ1キ粒剤	1kg 18kg 1kg	1回 2.52kg 2回	田植え機使用、薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数48株植え
除草剤散布	田植え後7～10日	ゴエモンジャンボ	0.4kg	3回	
除草剤散布	30.6～7月	バサグラン液剤	0.5リットル	1回	ブームスプレーヤーで散布
殺菌剤散布	30.8月	モンガリット粒剤	3kg	1回	
収穫、乾燥	30.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、粗すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特裁格付け、農産物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
8	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.52	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	成分名
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シウチ1キ粒剤	ブタクロール	5.0%
	ペントキザゾール	1.5%
ゴエモン®ジャンボ	イプフェカルバゾール	8.33%
	イマゾフルフロン	3.0%
	プロモバチト	30.0%
モンガリット粒剤	シメコザール	1.5%
バサグラン液剤	ベンタゾナトリウム塩	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
化成14-14-14	14

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	1箱当たり窒素施用量	10a 当たり使用箱数
関東農産無肥料培土	不使用	20枚

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.52	8	5割減

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備 考
	農薬成分回数	窒 素	
2018年9月7日小野崎勇治	8 回	2.52	
年 月 日	回		
年 月 日	回		

○特記事項

--